

# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

長崎県平戸市

H I R A D O C I T Y



# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業



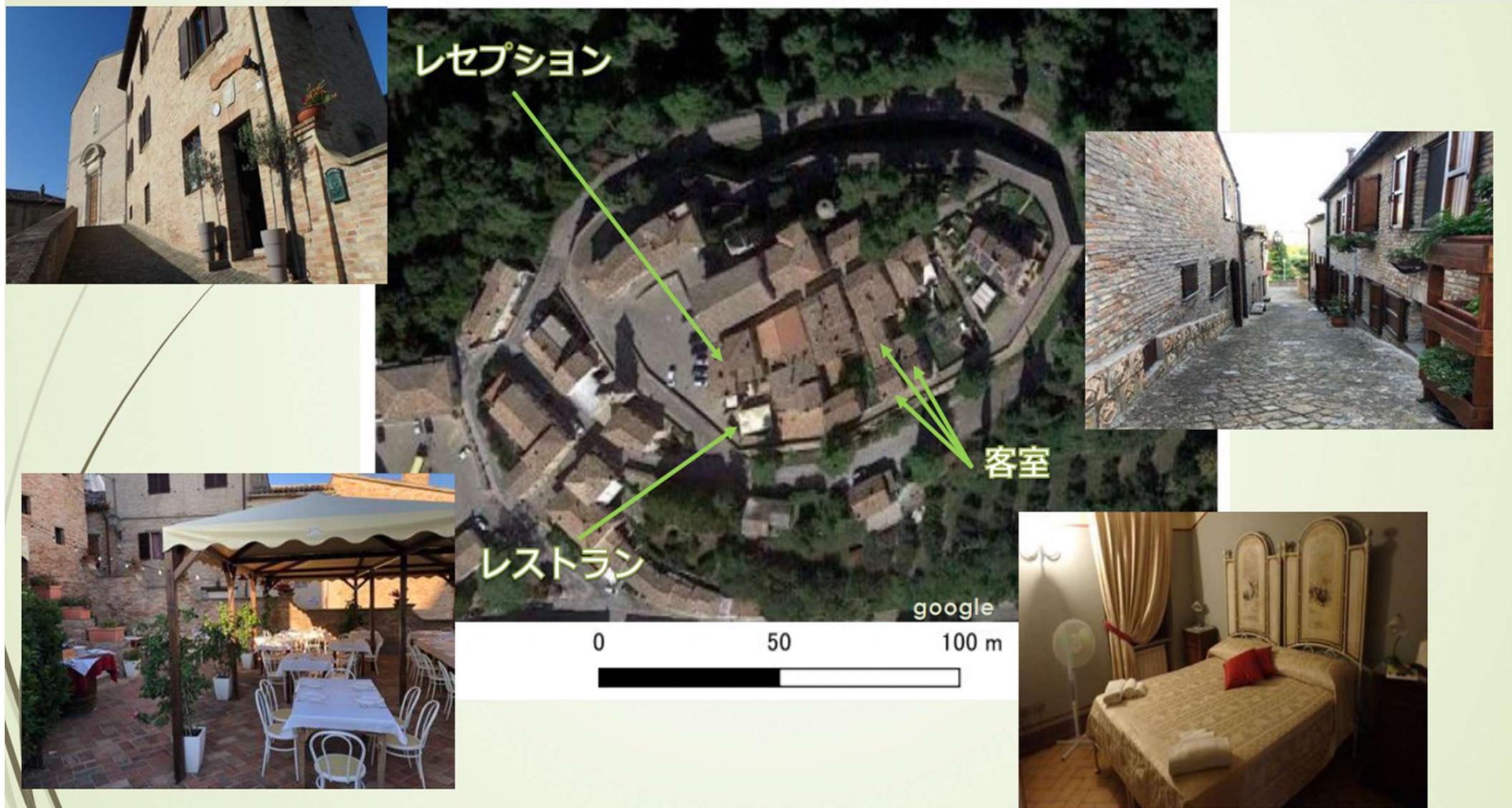
## ジャンカルロ・ダッラーラ (Giancarlo Dall'ara)

アルベルゴ・ディフーゾ国際会長。  
元ペルージャ大学教授。イタリアの観光、地域  
開発のコンサルタントを行う。地震をきっかけに  
過疎化が進行し、空き家が増えてしまったイタリ  
アのフリウリ地区の活性化のために、空き家を活  
用した宿泊モデルを考案。独自のおもてなしの  
モデルとして、アルベルゴ・ディフーゾを提案、アル  
ベルゴ・ディフーゾ協会（ADI）を設立し、その  
会長を務める。

## アルベルゴ・ディフーゾとは

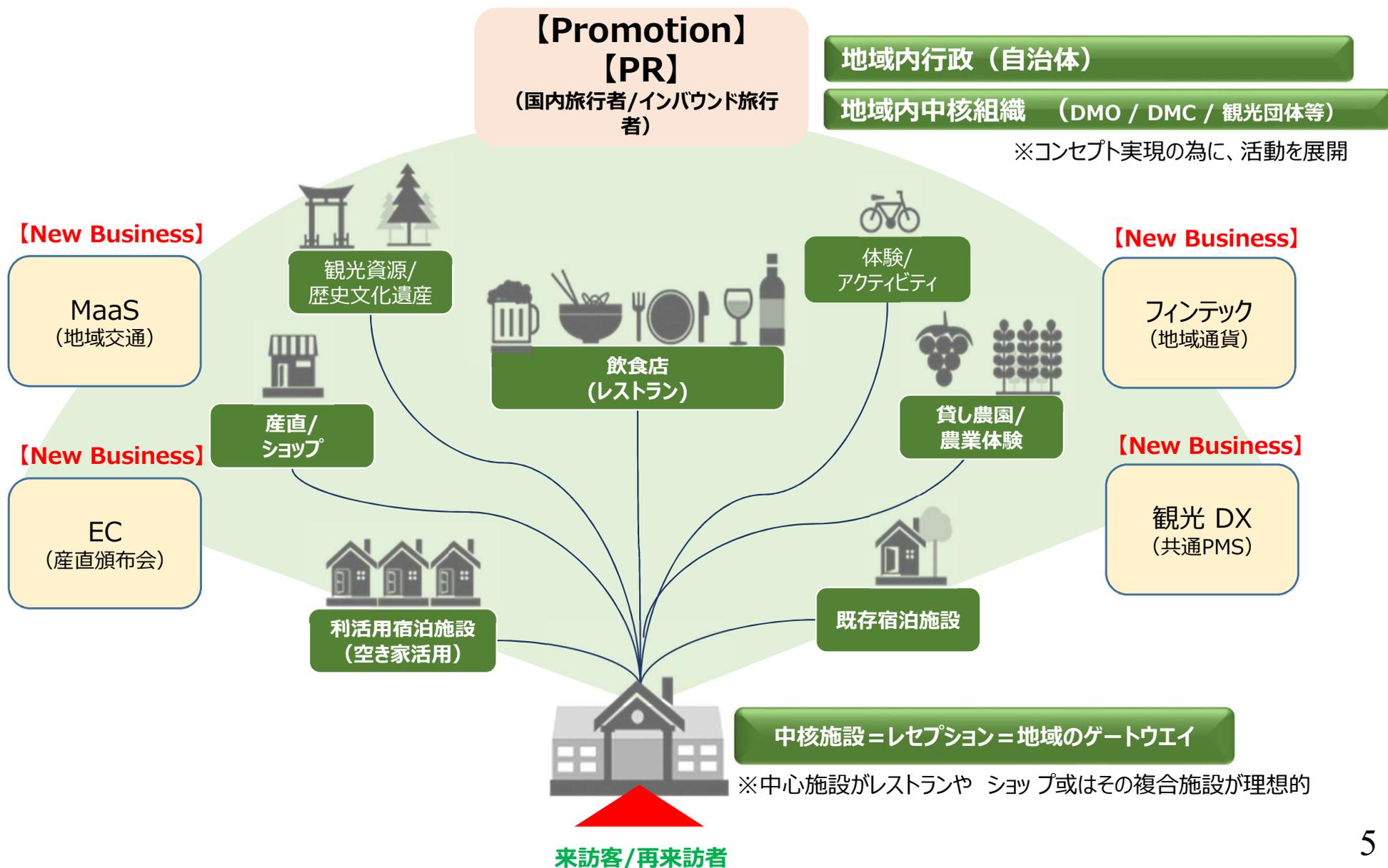
新たに建物を建てることなく、既存の家屋を活用し、ネットワーク化することで作られる「ホテル」であり、地域・地区全体をホテルと見立て、レセプション、宿泊施設、レストラン等の構成要素があること。

## アルベルゴ・ディフーゾとは



# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

## アルベルゴ・ディフーゾ



## 3つのコンセプト

- ・ **アルベルゴ・ディフーゾ**（AD：分散型ホテル）

日本語で「地域まるごとホテル」とも呼ばれる、基礎的なコンセプト。レセプション機能を持つ中核的な拠点を中心として、宿泊施設やレストラン等を水平的にネットワーク化（一体化）した取組。

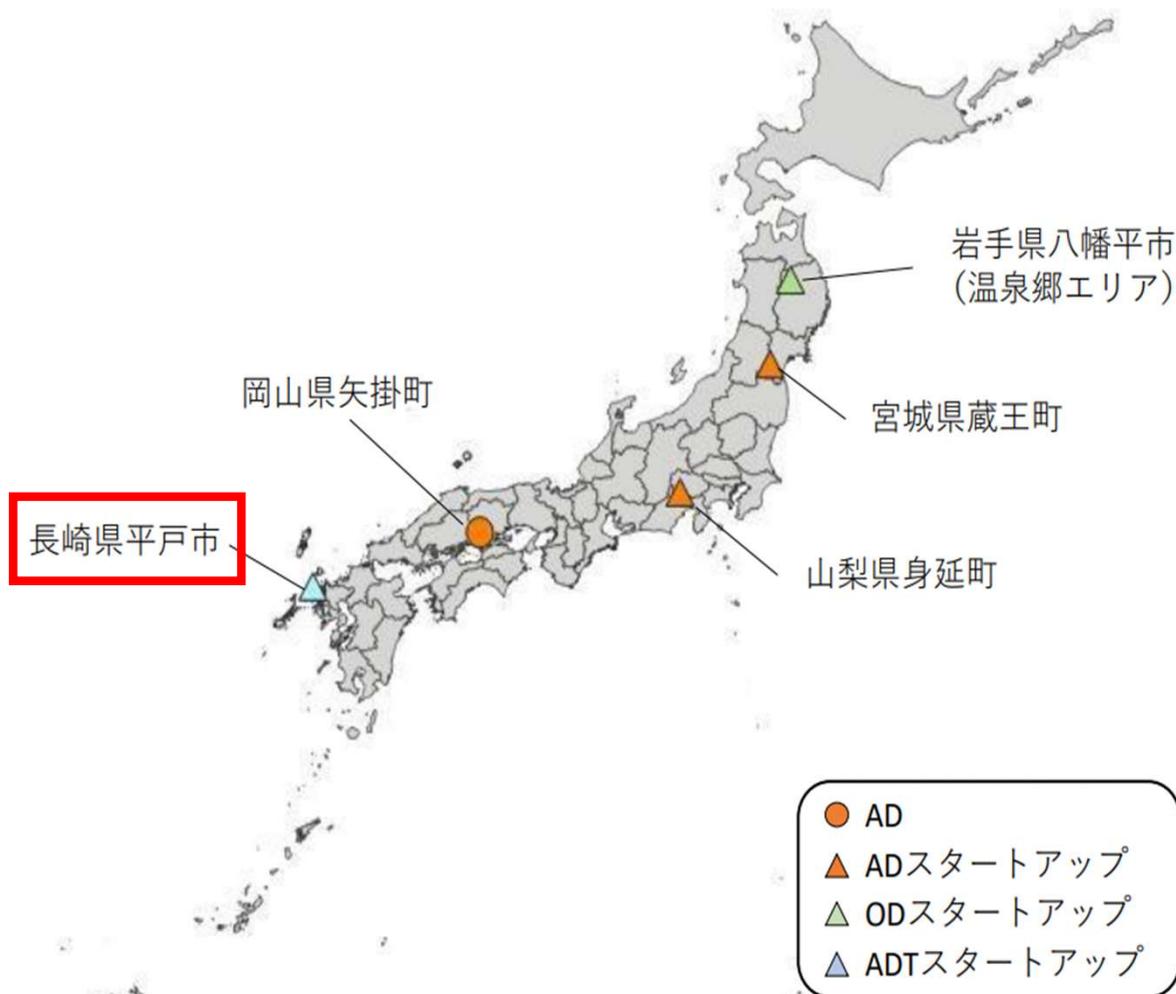
- ・ **オスピタリタ・ディフーザ**（OD：分散されるおもてなし）

基本的にはADと同様の概念ですが、取組範囲がより広範（レセプションからおおむね1km）となる地域が一体となり行う取組。

- ・ **アルベルゴ・ディフーゾタウン**（ADT：自治体への認証）

ADやODを計画、推進し、地域の持続的な発展を目指す地域を認証するもの。 ➡平戸市が目指しているもの

## 日本の認証地域（2024年11月現在）



認証タイプ	市町村名	認証先
AD	岡山県矢掛町	矢掛屋INN&SUITES
ADスタートアップ	宮城県蔵王町	蔵王農泊振興協議会
ADスタートアップ	山梨県身延町	鶴林精舎
ODスタートアップ	岩手県八幡平市 (温泉郷エリア)	株式会社八幡平DMO
ADTスタートアップ	長崎県平戸市	平戸市

# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

## (これまでの主な取組)

No	期日	件名	備考
①	令和4年12月	日本初のアルベルゴディフーゾタウン スタートアップ認証自治体に選定	
②	令和5年6月	観光庁の調査事業採択 ①空き家調査②アルベルゴ・ディフーゾタウン計画書の策定③住民説明会・ワークショップなど	
③	令和6年4月	「平戸市アルベルゴディフーゾタウン」計画書の公表 空き家、未活用資産の活用に向けたルール作り	
④	令和6年5月末	観光庁「歴史的な資源を活用した観光まちづくり推進事業」の採択（調査と改修へ）	
⑤	令和6年9月	改修に向けた工事開始	
⑥	令和7年3月	改修を終え、順次開業へ	

## 政府としても、更に「歴史的資源を活用した観光まちづくり」の推進へ

内閣官房は、地域が目指す姿として「歴史的資源を中核に地域資源の潜在価値を一体的に活用する観光・地域経営の実現」を図るとともに、新たな目標値として、2025年までに「50地域の面的取組展開地域」を創出するとともに、「300地域の取組展開地域」を目指していくこととなりました。

# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業（計画書抜粋）

アルベルゴ・ディフーゾタウンに向け、地域の空き家等の利活用を促進するための支援。今後、市内全域へのADやODを波及するために、まずはモデル地区の選定を行い、先行的な開発を行いながら事業推進及び観光振興を図る。



## 【重点モデル地区】①平戸城下町エリア

平戸市街地の中心部であり、長崎県「美しいまちづくり重点地区」および平戸市「街なみ環境整備事業」にて町屋の修景・保存や無電柱化された地区。市街地の中心地として商店街の空き家等の活用対策として選定。

## 【モデル地区】②田助地区エリア

平戸港の副港として栄えた地域。昔ながらの町屋（文化財）が残る港町。漁村地域のモデル地区として選定。

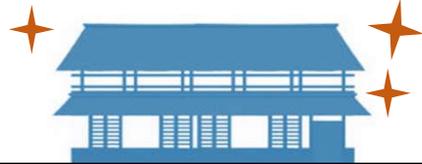
## 【モデル地区】③大島村神浦地区エリア

大島村神浦地区（国：伝統的建造物群保存地区）  
現在でも江戸時代中期から昭和初期までの建物が、道の屈曲に沿うように建てられていることも特徴の一つです。  
離島の活性化のモデル地区として選定。

# アルベルゴ・ディフューゾタウン推進事業 (計画書抜粋)

## 【重点モデル地区】平戸城下町エリアでの推進体制イメージ図

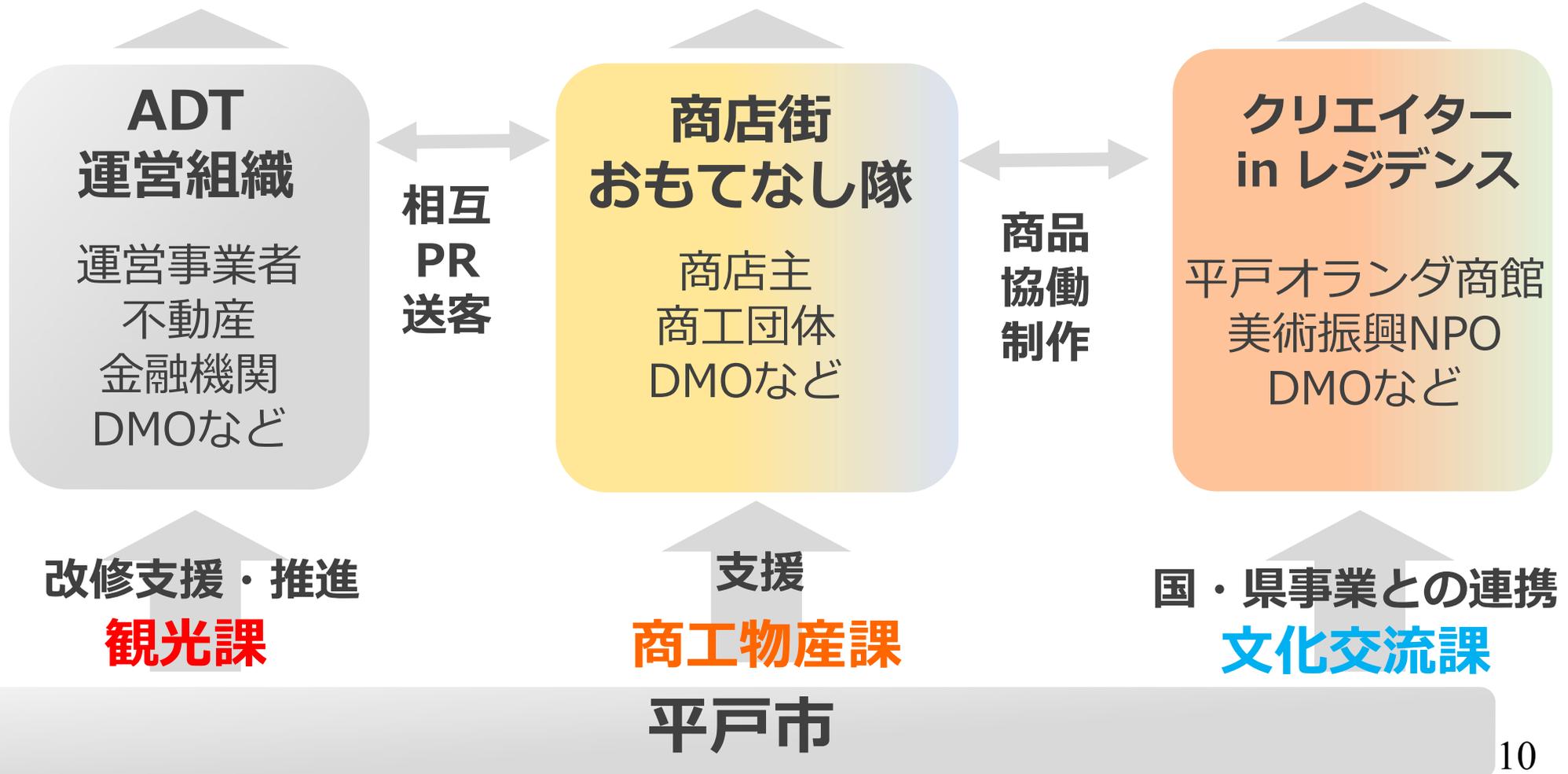
宿泊施設の拡充



商店街全体の  
おもてなし向上



平戸文化の発展



# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業 (R6年度)

世界初の「アルベルゴ・ディフーゾタウン」の国際認証に向けた平戸藩の歴史的資源の活用による面的な観光地域づくりに取り組めます

## アルベルゴ・ディフーゾタウン改修エリア



【重点モデル地区】①平戸城下町エリア  
平戸市街地の中心部であり、長崎県「美しいまちづくり重点地区」および平戸市「街なみ環境整備事業」にて町屋の修景・保存や無電柱化された地区。市街地の中心地として商店街の空き家等の活用対策として選定。

【モデル地区】②田助地区エリア  
平戸港の副港として栄えた地域。昔ながらの町屋（文化財）が残る港町。漁村地域のモデル地区として選定。

### (歴まち改修補助事業) 観光庁事業の採択

事業内容	件数
古民家賑わい拠点改修工事	1件
古民家宿泊事業改修工事	2件
古民家飲食店改修工事	3件

(歴まち調査事業) 観光庁事業の採択  
城下町特に、松浦家の関連資産の調査 3件程度

# アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業

## 城下町エリアと田助エリア 開発イメージ図



# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業



## 城下町エリアのゾーニング

開発状況（R7年3月末）

城下町エリア	件数 (内開設)
宿泊施設	3件①② (1件) ⑩
飲食施設	4件③④⑤ (1件) ⑪

朱書きの部分がR6改修物件

調査状況（R6年12月末）

城下町エリア	件数
調査物件	3件⑦⑧⑨

# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

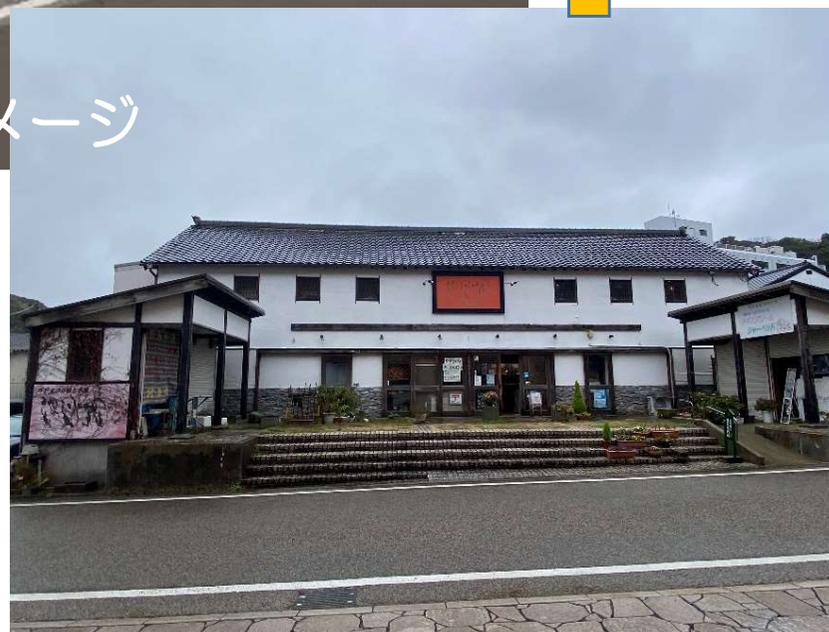
お土産⇒宿泊棟や賑わい創出へ  
新たな町屋の拠点

400年前の黒松を  
使った建物

改修イメージ

## ①旧婆娑羅

レセプション機能、物販・カフェ  
宿泊棟（2カ所）、イベント広場など



# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業



# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

## 田助エリア ⑥旧角屋主屋【登録文化財：旧角屋主屋 県：景資第2-181号】



木造2階建 寄棟造り 瓦葺き

田助町は古くから平戸の副港として昭和初期まで賑わいを見せた。海に面して建つ建物は、それぞれの敷地から石段で直接海へ下りることができ、そこには魚棚が作られ網を広げたりと、のどかな港町の風景があった。近年の護岸工事によって石段は失われたものの、以前の海岸線に沿って石垣が残っている。幕末の志士が会談された家屋である。

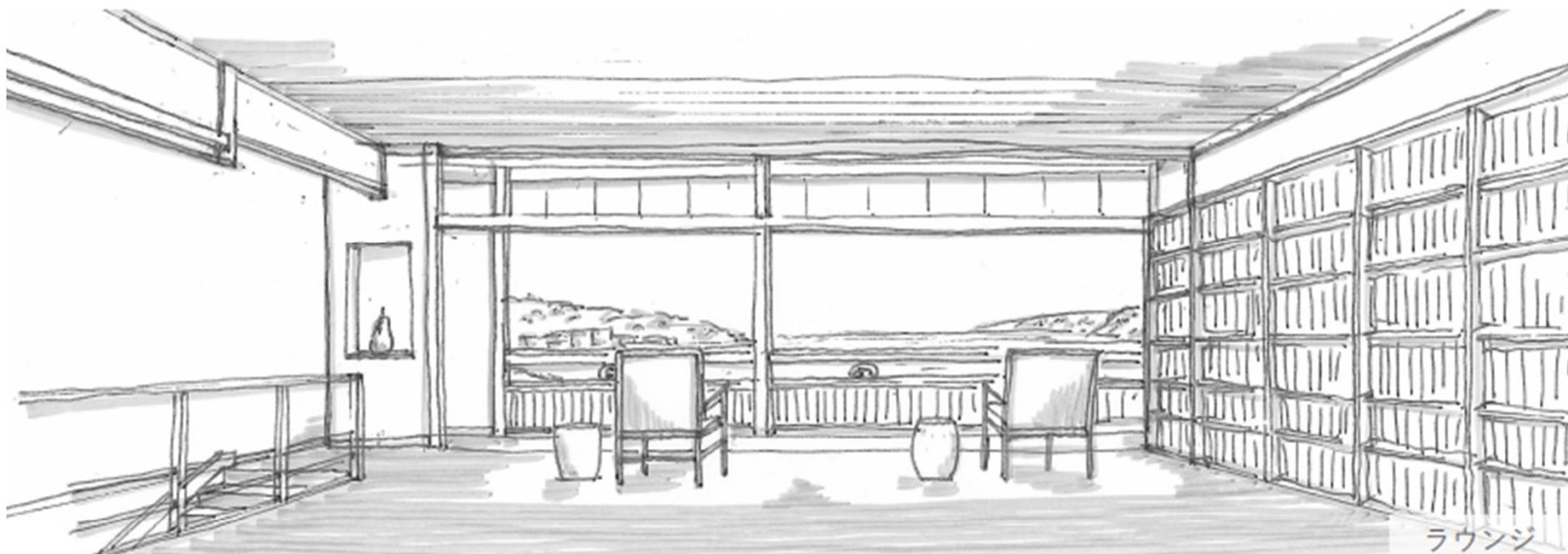
1階：フロント機能+飲食（カフェ）

2階：客室（4室）

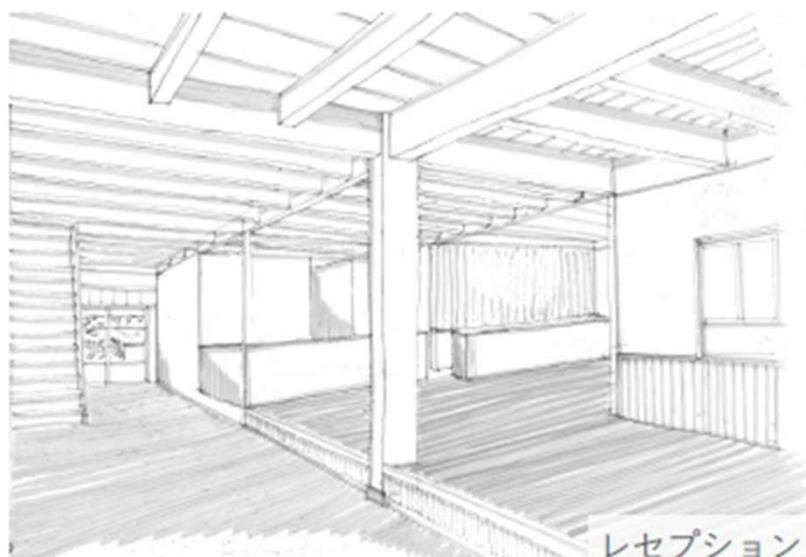


# アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

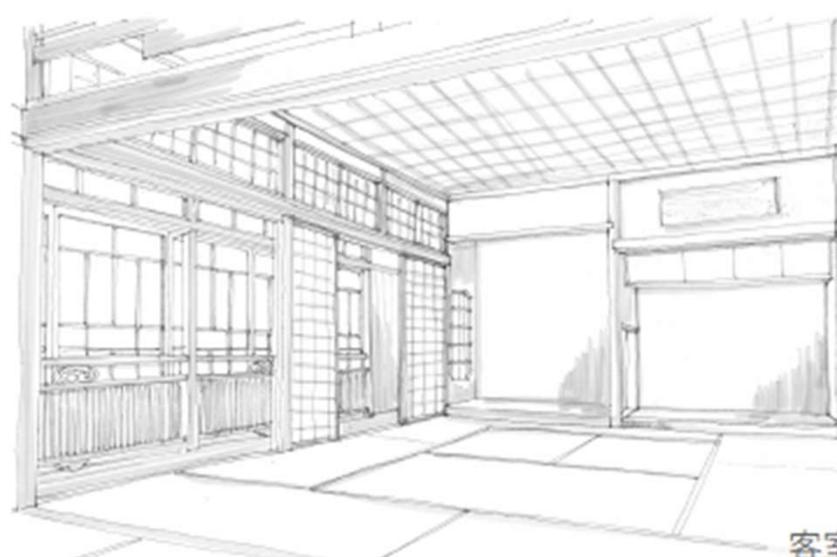
田助エリア 旧角屋主屋 改修イメージ図



ラウンジ



レセプション



客室